

| | |
|--------|-----------------|
| 議会受付番号 | 鎌総第1169号 |
| 質問者 | 上島 寛弘 議員 |
| 答弁する者 | 市長(経営企画部 経営企画課) |

文書質問に対する答弁書

鎌倉市議会基本条例第7条第3項（鎌倉市議会会議規則第105条）の規定による文書質問について、次のとおり答弁いたします。

1 件名

C2C宣言をした鎌倉市の在り方と現状

2 質問の要旨

- (1) C2C宣言とは何か。鎌倉市としてC2C宣言をどう捉えているのか。
- (2) 市長はC2C宣言を行ったが、宣言前と宣言後、どのように鎌倉市は変わったのか。
- (3) 現在のC2C宣言の担当部署はどこか。引き継ぎはされているのか。どのように取り組んでいるのか。
- (4) 市長が行ったC2C宣言は現在も有効か。死文化していないか。
- (5) 市長のC2C宣言に対する想い、情熱は変わっていないのか。
- (6) 職員のC2C宣言に対する理解度は如何か。
- (7) どうかC2C宣言をきちんと実現していただきたいが如何か。

3 答弁

- (1) C2C宣言とは、平成23年度予算提案説明において、私が「C2C（ゆりかごからゆりかごへ）の考え方をまちづくりの基本として、常に意識をしながら行政運営に当たってまいります」と述べたことを捉えているものと認識しています。C2Cの考え方は、「持続可能な都市経営」と一致した理念ととらえています。
- (2) 「持続可能な都市経営」を推進するため、諸施策に取り組んでおり、今後も着実に推進してまいります。
- (3) 「持続可能な都市経営」にあたっての理念であり、特定の部署が担うものとは考えていません。
- (4) C2Cの理念は、私の掲げる持続可能な都市経営に引き継いでいます。
- (5) 環境や財政に負荷をかけない姿勢は、現在も変わっておりません。
- (6) 「C2C」という言葉そのものは分かりづらく、職員の理解度は決して高くはないと考えています。このため、「持続可能な都市経営」という言葉に置き換え、理解を深めるよう努めてきました。この理念については、職員間で共有できているものと考えています。

(7) 今後も持続可能な都市経営を進め、世界に誇れるまち「鎌倉」を目指してまいります。